

3.11東北大震災 福島原発被災地見学会



～ 福島県双葉郡富岡町 ～

未曾有の東北大震災から12年、東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により、全町民が避難を余儀なくされた富岡町を訪ねます。

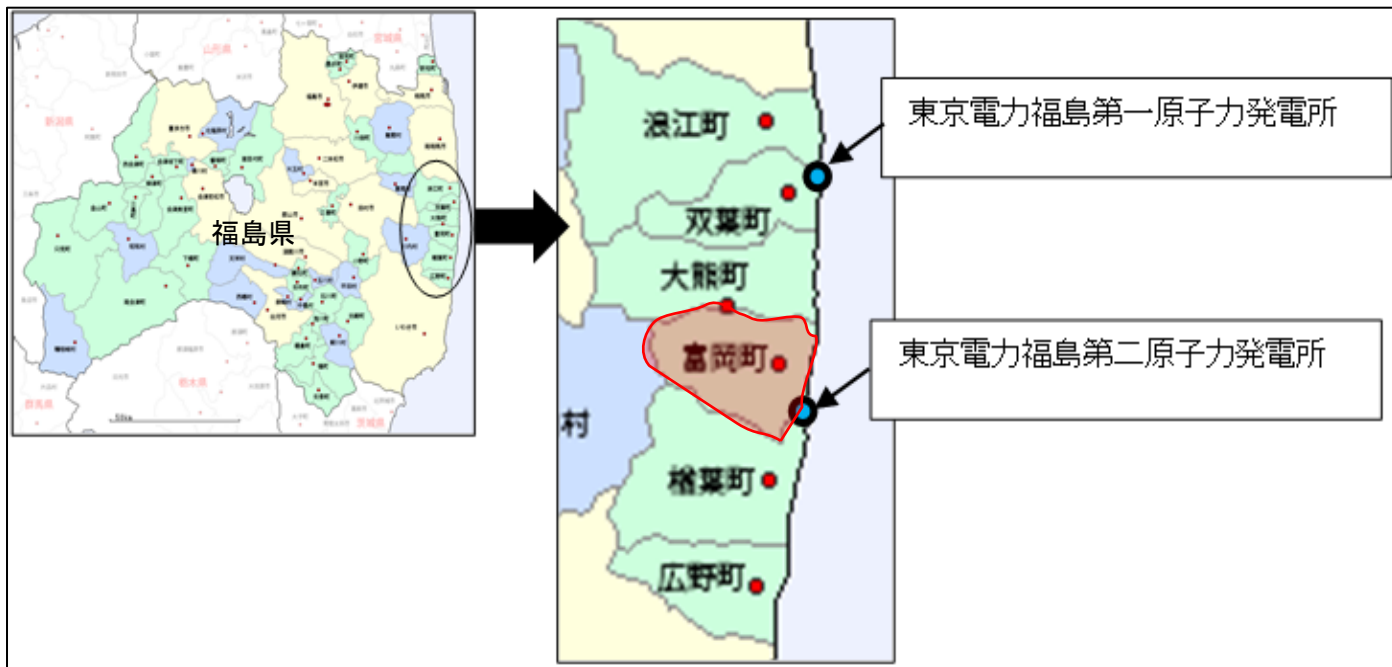
「人の世に起こったできごとは、人によって語られなければならない」ということで「語り人（かたりべ）」の活動を行っているNPO法人「富岡3.11を語る会」のご案内で現地を見学します。

また、東京電力の「廃炉資料館」の見学も行います。

**下記のとおり実施いたします。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。**

日 時	令和5年6月25日（日）	7：30集合・出発
集合場所	JR新小岩駅 東北広場（裏面地図参照）	
参加費	2,000円（資料、交通費、及現地案内費の一部として）	
募集人数	40名（先着順）	eizoutoshikeikaku@gmail.com 携帯 080-4006-8819
行 程	7：30	出発（集合次第出発します）
	11：00	東京電力廃炉資料館 到着（※昼食時間は特に設けません。各自ご持参ください。） 廃炉資料館見学及び現地見学
	14：00	廃炉資料館 出発
	14：30	道の駅ならは 到着（予定） お土産購入
	15：00	道の駅ならは 出発
	18：30	JR新小岩 東北広場 到着予定（道路状況により流動的です。）

主催 市民防災まちづくり塾実行委員会・関東地域づくり協会



富岡町（とみおかまち）は、福島県浜通りに位置し、双葉郡に属する町。

2011年（平成23年）に発生した福島第一原子力発電所事故の影響で、北東部（町面積の約12%）は現在においても帰還困難区域に指定され、立ち入りが制限されている。ただし、特定復興再生拠点区域への指定により、同区域内では除染やインフラ整備が進められている。

2011年3月17日以降、仮役場を郡山市にあるビッグパレットふくしま内に設置していた。同年12月19日以降、郡山市大槻町西ノ宮に富岡町役場郡山事務所を開設し、役場機能を移転した。2017年（平成29年）4月1日より北東部の帰還困難区域を除いて避難指示が解除され、それに先駆けて同年3月6日より本庁舎にて町役場の業務の一部を再開した。

歴史

現在の富岡町域一帯には、古墳や7～8世紀頃の役所跡と見られる小浜代遺跡など、古くから人々が定住していた痕跡が残されている。

この地が富岡と呼ばれるようになったのは戦国時代頃と考えられており、当時は岩城氏の所領であった。江戸時代には、富岡は当初磐城平藩領に属したが、延享4年（1747年）に井上氏が藩主になると、富岡を含む楡葉郡は平藩領から外されて幕領に編入され、小名浜代官所の支配地となった。その後、富岡一帯は仙台藩預かり地を経て、幕領・棚倉藩領・多古藩領に三分割されて明治に至った。

（出典：Wikipedia）



東京電力廃炉資料館

当社は、発電所周辺地域をはじめとした福島県の皆さま、そして多くの皆さまが、福島原子力事故の事実と廃炉事業の現状等をご確認いただける場として、「東京電力廃炉資料館」を開館いたしました。（東京電力ホールディングスHPより）

新小岩駅東北広場案内図



集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。

